

身近な性犯罪・性暴力、  
痴漢をなくすために  
—被害者支援の視点から考える—

---

上智大学総合人間科学部心理学科  
(公社)被害者支援都民センター  
齋藤 梓(公認心理師, 臨床心理士, Ph.D)

## 本日の内容

1. 電車内の性暴力が被害を受けた人に与える影響
2. 身近な性犯罪・性暴力、痴漢をなくすために
  - － 周囲にいる第三者や社会が「できること

1. 電車内の性暴力が  
被害を受けた人に与える影響

---

いつ、どこで、誰と、どんな性的な行為をするか  
いつ、どこで、誰に、自分の身体を見られるか  
それは自分が決めてよいこと

自分の意志や感情、自分の決定がないがしろに  
されるということは  
安全や安心が脅かされる  
誰かにとって「性的なモノ」として使われる  
人として尊重されていないという感覚

トラウマ反応

さまざまな  
精神疾患

性暴力被害

尊厳への影響

人生への影響

・trauma「心的外傷」

・何らかの外的出来事により、急激に押し寄せる強い不安で、  
個人の対処や防衛の能力の範囲を凌駕するもの  
(Campbell, 1996)

・耐えがたい情動的苦痛の最中に心理的に孤立無援で気づいて  
もらえないと感じること (J.G.アレン, 2020)

不眠・食欲不振・過食  
動悸・発熱  
腹痛・頭痛・難聴

## 身体的反応

再体験・悪夢・回避  
イライラ・抑うつ  
集中力低下・麻痺解離

## 精神的反応

外に出られない  
人に会えない  
さまざま依存  
問題(に見える)行動

## トラウマ反応

世界は危険だ  
他人は信用できない  
自分は価値がない  
自分の責任だ  
自分は汚い

生活・行動上の変化

考え方の変化

## 精神的影響

・PTSDの発症率 (Kessler et al., 1995)

→レイプ被害を経験した男性の65%、女性の45.9%

・精神疾患、物質乱用率 (Kilpatrick et al., 1992 (全米女性調査))

→レイプ被害者(女性)のうつ病発症率30%

(犯罪被害者ではない場合10%の発症率)

→レイプ被害者(女性)のアルコール関連問題を抱える割合

非被害者の13.4倍、薬物関連問題は26倍

・自殺念慮／自殺企図

→パートナー間暴力(身体及び性的)で被害のない人の4.5倍

児童期性虐待で8倍(WHO, 2013およびDevries et al., 2014)

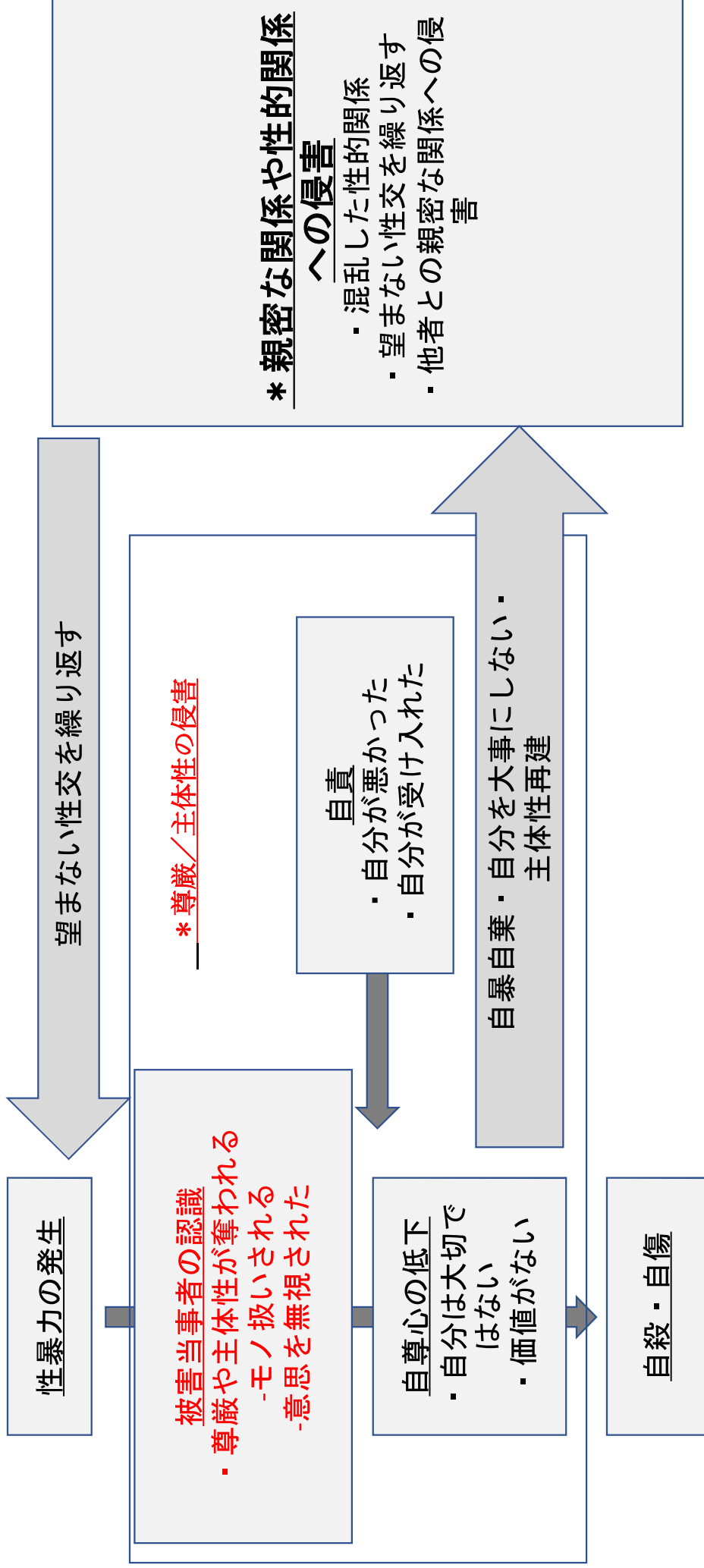
→性的被害経験のある学生はなし学生と比べて

自己報告の自殺企図 女性4.7倍、男性9.76倍

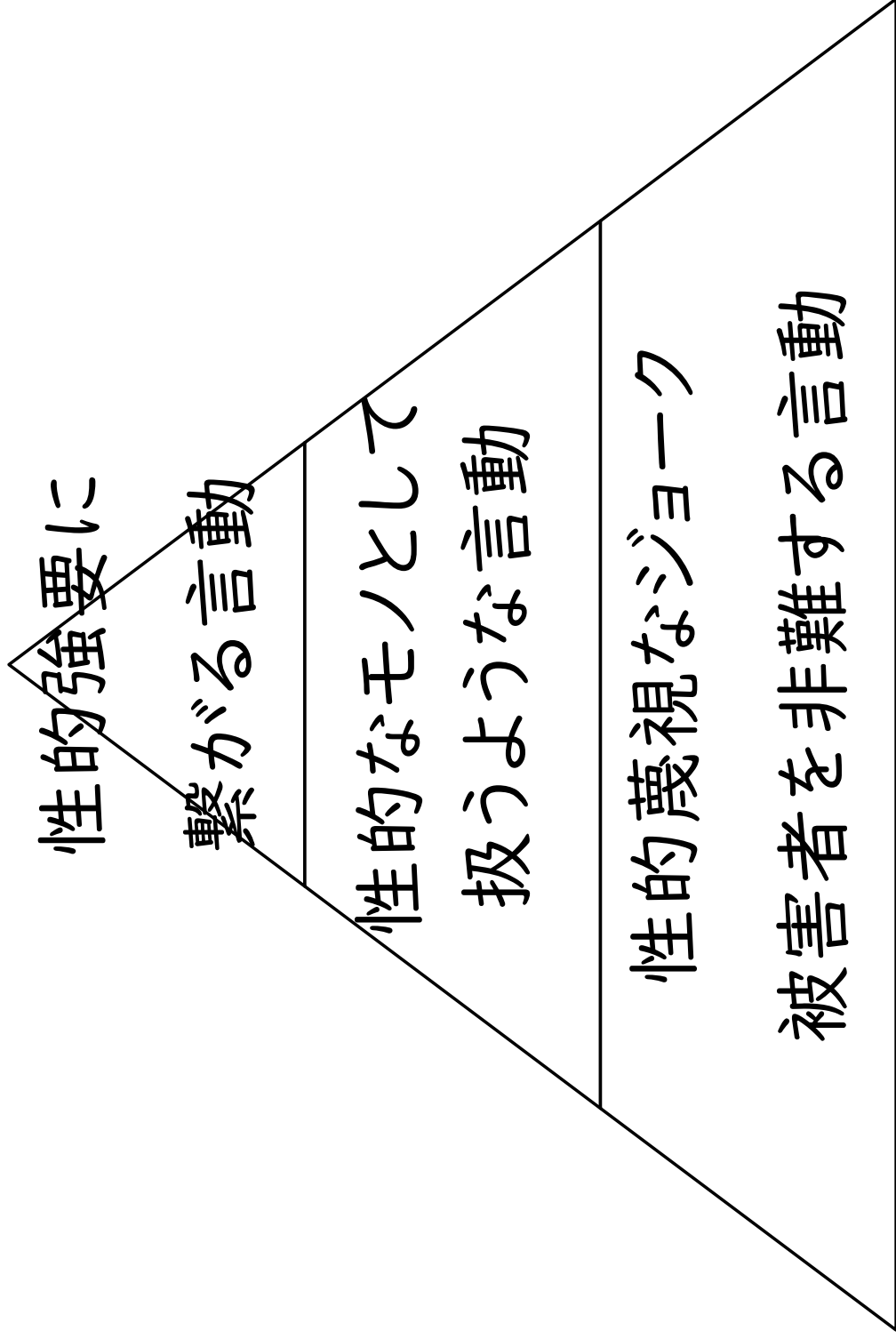
医学的に深刻な自殺企図 女性1.47倍 男性4.97倍 (Tomasula et al., 2012)



# 人生への影響



身近な性犯罪・性暴力、痴漢をなくすために  
— 周囲にいる第三者や社会が「できること



性的強要に

繋がる言動

性的なモノとして

扱うような言動

性的蔑視なジョーク

被害者を非難する言動

## 「第三者の介入」について

- Bystander 介入

Bystander—加害者でも被害者でもない第三者が、性的暴力に関わる行動を目撃すること (Powell, 2011)

Active Bystander—何らかの形で助けに入る第三者

⇔ Passive Bystander—何も行動を起こさない第三者

# 介入の成功のために

1. 出来事や  
状況の発生に  
気が付く

2. その状況  
が問題であると  
認識する

3. 介入する  
責任があると  
感じる

4. どのよう  
に支援できる  
かを決める

5. 介入する  
ために行動す  
る

# 5つのD

Distract

Delegate

Document

Delay

Direct

注意を  
そらす

誰かに助け  
を求め

証拠を残す

声をかける

直接介入  
する

・Bystander intervention trainingの効果

→被害率が有意に低下

友人に対して支援的なbystander行動を実施

ただし…

・性的暴力を支持するような規範意識

・性的暴力に対するコミュニティの対応

・コミュニティ全体の性的暴力に対する感覚



気づく

声をかける

つなぐ



ご清聴ありがとうございました。